

しらきだにゆめふあくとりー
白木谷ゆめファクトリー

～山々の谷間谷間に夢がある(四方竹仙人)～



竹林整備の共同作業・竹の有効活用



たけのこ・四方竹の共同加工場完成

経緯

- 少子高齢化に伴う景観の荒廃、放任竹林の増加防止を目的に、平成23年に「白木谷ゆめクラブ」が発足。
- 平成29年に共同加工場が整備されたことを機に、組織名を「白木谷ゆめファクトリー」に改名。

取組内容

- 竹林の管理受委託により放任竹林を整備し、放置竹林の解消を図る。
- 竹林整備で伐採された竹はチップ化、パウダー化し、孟宗竹・四方竹園場へ還元。
- 収穫されたたけのこは、ボイルや寿司、乾燥たけのこなどで直販所を中心に販売。
- たけのこ掘り体験を通じて市内外と交流。

活動の効果

- 放任竹林整備作業による景観荒廃の解消。伐採により生じた竹の有効活用の体制が構築された。
- 地域農産物の加工品開発により、農閑期にも収益が得られるようになり、地域の所得向上に繋がった。
- 商品の県外への販路を拡大したことで、白木谷集落の認知度がアップし、地域の活性化にも寄与している。

応募団体からのアピール・メッセージ

竹林整備や農産物の生産・加工・販売の体制を強化し、非農家も含めた集落全体での活性化を目指します。また、「たけのこ掘り体験」「たけのこ料理づくり体験」を展開し、集落のファンを増やしていきます。